

一般社団法人 京都大学外科交流センター

第 20 期 中間臨時総会 議事録

令和 7 年 8 月 2 日（土）午前 11 時 45 分より TKP ガーデンシティ京都タワーホテル 4 階 4A にて、一般社団法人 京都大学外科交流センター第 20 期中間臨時総会を開催した。

- ・ 代議員の総数 89 名
- ・ 出席代議員の数 51 名
- ・ 欠席代議員の数 38 名（内、委任状提出者 17 名）

以上のとおり出席ならびに委任状の提出があったので、本第 20 期中間臨時総会は適法に成立した。

定刻、寺嶋宏明 理事長が議長となり、開会を宣し直ちに議事に入った。

議事録署名人として、議長提案により森章代議員、田浦 康二郎代議員の 2 名を選任した。

【会員状況報告】

正会員数は 887 名で、前年同時期より 4 名減少したことが報告された。

また団体賛助会員は、計 64（施設 56、企業 8）となり、「株式会社安藤忠雄建築研究所」からのご支援が本年度で最後となるため、6 年間ご支援頂いたことへの謝意が述べられた。

【新入会・退会 会員の報告】

新たな入会者 11 名の情報を確認した。各関連施設所属の専攻医について、在籍期間中の登録を関連施設に対し徹底するよう強く周知された。

第 20 期、強制・希望退会の 14 名が確認されたが、復帰の意向がある医師がいることが指摘された。

また 2024 年 12 月 31 日に逝去された亥埜恵一先生への黙祷が捧げられた。

【役員・代議員名簿】

代議員・理事・幹事の構成について、資料をもとに確認がなされた。

【各委員会からの活動報告】

- ・ **学術教育委員会**
冬季研究会および同門会の開催予定、学術業績集計の一部修正（低侵襲手術“腹腔鏡・ロボット手術”の追加）、論文化実績と今後の促進について報告があった。
- ・ **キャリアサポート委員会**
若手外科医のキャリア支援について、本年度も WEB による進路相談が実施されていることが報告された。
- ・ **QOW（Quality of Work）向上委員会**
2025 年 6 月 29 日に「キャリアサポート委員会」との合同開催された、「映像による施設紹介と Quality of Work の集い」について報告された。今後の活動として、勤務時間と勤務環境の実態調査、メンタルヘルスの取り組みを検討することが報告された。
- ・ **広報委員会**
本年度発刊予定の会報誌記載 特別寄稿予定者やホームページアクセス数が報告された。また WEB や SNS を活用した情報発信強化が報告された。

- ・ **総務委員会**

登記登録や会費請求などの事務活動が報告された。また各委員会との連携が報告された。

【財務報告】

中間収支報告に基づき、収入（年会費・寄附金・講演会等）および支出（人件費・会場費・WEB管理費等）について報告された。

今期は、ILLS 協力金 および 株式会社安藤忠雄建築研究所 からの寄付による余剰が報告された。

【議題提案・その他報告】

- ・ **民間医局レジナビフェア**

2025年7月6日への参加報告があり、インテックス大阪にて医学生・研修医と交流を行ったこと、外科教授、関連施設医師がスタッフとして参加したことが報告された。

ブースに訪れた医学生・研修医67名には、京都大学外科交流センターより引き続きフォローすることが報告された。

外科交流センターとしては、来年度以降もレジナビに参加する方針で同意を得た。

- ・ **京大外科 SUMMER CAMP**

京都大学外科交流センター主催の「SUMMER CAMP」について報告があり、若手に外科の魅力を伝えるための体験型プログラムの重要性が強調された。

ロボット手術体験や懇談会の開催を予定しており、(1) 関連施設各施設の見学学生や在籍する初期期研修医への情報提供と参加勧誘、(2) ボランティアスタッフの参加協力、を各施設外科代表者に求めた。

- ・ **特別会員 寄付者一覧**

今期 特別会員へ寄付を依頼した結果、約30万円への寄付が集まったことが報告された。寄附者への謝辞が述べられ、ホームページに寄付者リストを掲載することが報告された。

- ・ **役員会・理事会について**

令和7年3月15日役員会および令和7年7月19日第3回理事会の報告として、運営改善案、寄附制度の透明化、京大外科同門会のあり方の検討、外科イベント企画、ホームページリニューアル等の進捗状況が報告された。

【閉会】

議長より閉会の挨拶が述べられ、午後12時45分に閉会となった。以上、議事録として記録し、議長および議事録署名人が署名する。

令和7年8月2日